

2022年10月7日
新潟支社

「JR東日本 EF64 形電気機関車コンプリート撮影会」開催！

JR東日本新潟支社では、10月29日（土）に鉄道開業150年特別企画としてJR東日本で所有する「EF64形電気機関車」6両を全て取り揃えた「撮影会」を「長岡車両センター」（新潟県長岡市）で開催します。

- 「長岡車両センター」配置の4両及び「ぐんま車両センター」（群馬県）配置の2両の合計6両の「EF64形電気機関車」を一堂に会した「撮影会」は初めての開催です。
 - 上越線等の勾配線区特有の「重連総括運転」と呼ばれる機関車を2両連結した状態を再現します。
 - 分割作業及び入換運転を実施し、動きのある撮影シーンをご用意します。
 - 6両を横一列に並べ、寝台特急のヘッドマーク4種を掲出した撮影時間を設けます。
- イベント参加はJRE MALL「JR東日本 新潟支社」店で商品（先着定員制）をお買い求めください。

1 開催日時（集合～解散）

2022年10月29日（土）

- ・ 午前の部 9:30 ～ 12:30
 - ・ 午後の部 13:30 ～ 16:30
- ※撮影時間は160分程度を予定



EF64形電気機関車



撮影会場

2 開催場所

長岡車両センター（現地集合・解散）

※信越本線「宮内」駅より徒歩約20分
「長岡」駅より徒歩約30分

駐車場等はありません。徒歩または公共交通機関をご利用ください。

3 展示車両

EF64-1030、EF64-1031、EF64-1032、EF64-1051（長岡車両センター配置）
EF64-1001、EF64-1053（ぐんま車両センター配置）

4 撮影環境

- 主な撮影シーン及び当日の進行、撮影エリアを記載した会場マップは別紙をご覧ください。
- 各部とも前半を「重連総括+4両並列」、後半を「6両並列」として撮影時間を設けます。
- 撮影開始時、「重連総括」のEF64-1051/1032でパンタグラフの上昇実演を行います。その他の車両は常時パンタグラフを上昇した状態で留置します。
- 入換運転中を除き、標識灯は宮内駅側を「前部標識（前照灯・白色）」、長岡駅側を「後部標識（尾灯・赤色）」を点灯します。
- 双頭連結器の車両は「自動連結器」を基本として、一時的に「密着連結器」に転換する時間帯を設けます。
- ヘッドマークは「あけぼの」「北陸」「鳥海」「出羽」の4種類を6両全てに取り付けます。※ローテーションは行いません。なお、一部重複する愛称名があります。

- 立地の関係上、天候・時間帯によっては「光線」などのご期待に沿えない場合があります。
- パンタグラフ、標識灯（照度）、ヘッドマーク及び連結器の変更・調整等個別の要望には、お応えしかねますのであらかじめご容赦ください。
- 撮影エリア内には一部、電化柱を建植している箇所があります。電化設備及び隣接する建物などの「影」が生じる場合があります。
- 車両センター構内は撮影会開催中でも通常の「車両基地」として機能しています。会場はエリアを区分し、安全を確保して運営します。やむを得ず、他の車両や通常業務の従事者及び動線管理・外部との遮へいに使用する用具、停止位置目標や車止め等の設備が写り込む場合があります。

5 販売価格

お一人さま 38,400 円（税込／大人・小児同額）

参加は小学生以上を対象とします。小学生のご参加には保護者の同伴が必要です。

※購入後の取消・返金はいたしかねます。

6 販売数量

各部 50 名さま（合計 100 名さま）

※1 回の購入操作で最大 2 名さま分まで購入可能

7 販売期間

2022 年 10 月 11 日（火）12：30 ～ 10 月 23 日（日）23：59 ※売り切れ次第終了

8 購入方法

JRE MALL に会員登録の上「JR 東日本 新潟支社」店よりご購入ください。[先着定員制]

JRE MALL「JR 東日本 新潟支社」店：<https://www.jreastmall.com/shop/c/ci3/>

9 その他

参加条件およびその他注意事項等の詳細は JRE MALL「JR 東日本 新潟支社」店ページでご案内します。

【EF64 形電気機関車とは】

現在、JR 東日本で所有する EF64 形 1000 番代は 1980（昭和 55）年から 1982（昭和 57）年にかけて中勾配線区向けに旅客列車・貨物列車を牽引する直流電気機関車として全 53 両が製造されました。

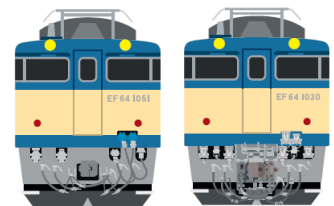
国鉄時代の最後に製造された電気機関車の形式で新製時は全て当時の長岡運転所（現在の長岡車両センター）に配置されました。

上越線等の勾配線区において特に重量のある貨物列車等を牽引する際には、2 両連結した機関車を 1 名の運転士で操縦する「重連総括運転」と呼ばれる方法が採用されました。

撮影会では「重連総括運転」の特徴でもある「重連用ジャンパ栓」を使用し、2 両の機関車を電氣的に接続して往年の運転方法を再現します。

新製時は全ての車両に客車・貨車との連結を前提に「自動連結器」を備え付けていました。その後、新車の回送や工場への入出場のため「電車」を牽引する機会が増えたことから「電車」の設備である「密着連結器」にも連結できるように一部の車両を改造し、「自動連結器」「密着連結器」両方の機能を兼ね揃えた「双頭連結器」を搭載して今日に至っています。

現在では JR 東日本では 6 両を残すのみとなりました。「長岡」生え抜きの 4 両のほか、ぐんま車両センターからも今回 2 両が撮影会のためだけに活躍の起源である「長岡」に特別に里帰りします。



※画像は全てイメージです。

※掲載内容は全て計画であり予告なく変更または中止する場合があります。

【別紙】

○ 主な撮影シーン・進行予定

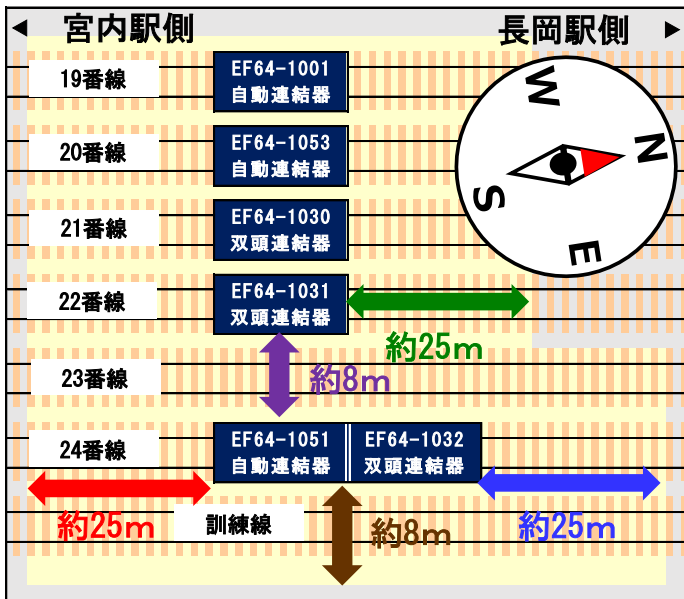
※概ねの予定時刻を記載しています。当日の進行状況により前後することがあります。

午前の部	午後の部	配置	線路	主な撮影シーン	エリア
9:40 ~	13:40 ~	重連総括 +	24#	EF64-1051及び1032のパンタグラフを上昇・標識灯点灯	①
10:05 ~	14:05 ~		24#	分割作業の準備のためEF64-1051のパンタグラフ降下	
10:10 ~	14:10 ~		-	撮影エリアを変更	
10:20 ~	14:20 ~	4両並列	24#	EF64-1051及び1032の分割作業を実演	②
10:30 ~	14:30 ~		24#	EF64-1032の入換運転・23#へ転線	
10:40 ~	14:40 ~	6両並列	-	撮影エリアを変更	③
10:40 ~ 11:10	14:40 ~ 15:10		24#	EF64-1051のパンタグラフを上昇・標識灯点灯	
11:10 ~	15:10 ~		21#/22#/23#	双頭連結器を転換（「自動連結器」⇄「密着連結器」）	④
11:20 ~	15:20 ~		-	撮影エリアを変更	
11:40 ~	15:40 ~		19#~24#	ヘッドマーク取付作業	
~ 12:20	~ 15:20	-	-	撮影エリアを変更	③
		-	-	撮影時間終了・移動	

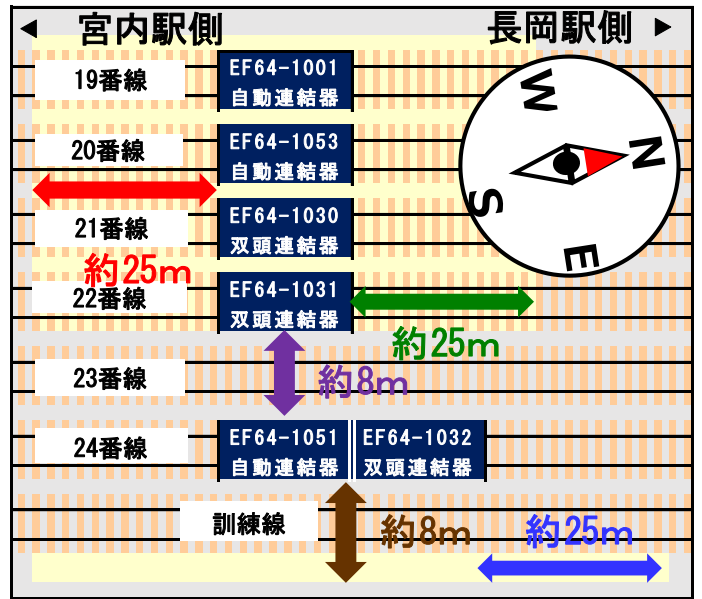
○ 会場マップ ※地図は略図です。縮尺・方角等は実際と異なります。

【凡例】 : 撮影エリア : 立入禁止エリア

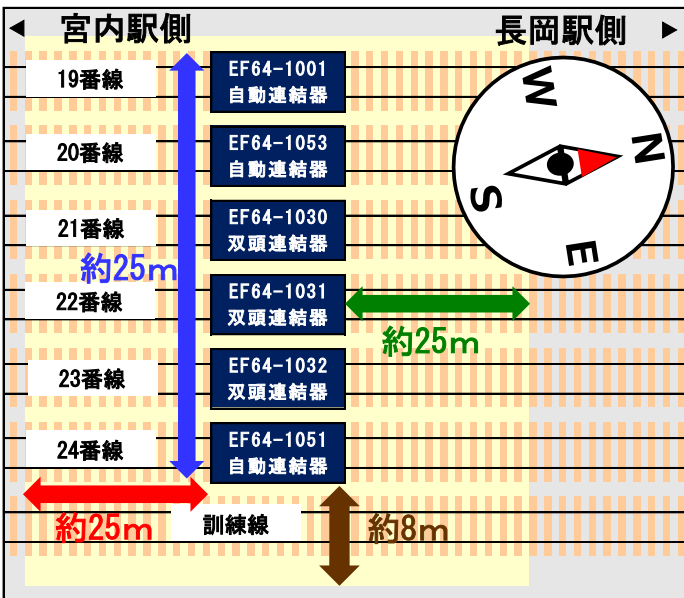
① 全エリア開放（重連総括+4両並列）



② 分割作業・入換運転実演（安全距離確保）



③ 全エリア開放（6両並列）



④ 全景撮影・ヘッドマーク取付

